

2013年6月27日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報34号

大規模デモに関するお知らせ（6月27日）

26日、リオ連邦大学の研究施設（IFCS）において約1000人が集まり、今後のデモ計画等に関する協議が行われました。

集会には、学生その他、弁護士会、土地なし農民ほかの極左団体関係者の参加が見られ、今後の活動の目標として、

- ・バスの運賃無料化要求
- ・逮捕されたデモ参加者の釈放要求
- ・軍警察の非武装化要求

が決定されました。

今後のデモ計画については、

1. 27日16時からリオ市中心部のカンデラリア教会を起点にリオ・ブランコ大通りにてデモ行進実施
2. 30日15時にチジュカ地区のサエンス・ペナ広場を出発し、コンフェデ杯決勝戦が行われているマラカナンスタジアムに向かってデモ行進実施と決定されました。

デモの規模等は不透明ですが、極左組織の関与が明らかになっており、活動が一層過激化する危険性が排除できません。

上記以外にも、短時間で参加者が集まって小規模なデモが起きる可能性があります。直前まで計画が明らかにされない事例が増えていますので、夜間の不要不急の外出を控え、やむを得ず外出する際には、行き先周辺及び経路の状況をインターネットのニュース等で確認するようにしてください。万一デモ隊に遭遇した場合には、速やかにその場を離れてください。